



ROSE

文化情報誌
ROSE

2007 AUTUMN Vol.61

ROSE THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSE

カルタハカタル

酒井川からたの小径から

INTERVIEW

佐山雅弘

終な大人時間

特集 ニューヨークハーレムシンガーズ
クリスマスコンサート

EVENT CALENDAR 2007

The 舞台裏 vol.6
サマーミュージカルスクール
「我楽託屋物語Ⅲ」

ロゼシアター施設紹介

芸術委員リレーエッセイ

Flash Back

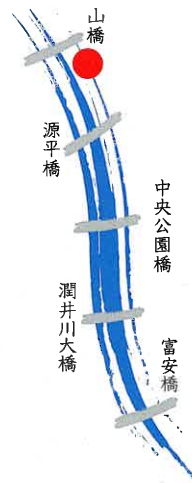
INFORMATION FROM ROSE THEATRE



秋の田のかりほの庵の苫をあらみ
我が衣手は露にぬれつつ
天智天皇



日本人の主食お米。
米は、生活を支える日常的な食材であるばかりでなく、日本の歴史においても、政治、経済、文化など、社会の様々な面に強く結びついてきた農作物です。
作者である天智天皇（中大兄皇子）は、「大化改新」を主導した人物としても知られますが、このクーデター以後、律令制による国家統治を推し進めました。主な施策の中には、米を租税体系の中心にすえた税制の確立などもみられ、この頃から稲作至上主義的な政治、政策傾向が、高まっていたといえます。
さて「百人一首」の巻頭歌でもある本作。編纂にあたり藤原定家は、自身の日記に「古来の人の各歌一首、天智天皇より以来、藤原雅経に及ぶ」と記しています。おそらくはこれからこの歌を巻頭とすることを決めていたのでしょう。後世に崇められる治世者が詠ったのは農作業に勤しむ民の労苦。稲作により発展を遂げた日本の原風景を映すかのような、そんな一首です。



ロゼシアターの東を流れる潤井川。山橋から富安橋までの沿堤は、「潤井川かるたの小径」と名づけられ、百人一首を彫り込んだ石版百枚が、道行く人々を楽しませています。



天智天皇（てんちてんのう）
626～671
第三十八代天皇。大化改新で蘇我氏を倒し、律令国家建設への礎を築いた。万葉集に四首を残す。

Contents

- **カルタハカルタ**
潤井川かるたの小径から 1
- **INTERVIEW**
佐山雅弘
ドキュメンタリーを共に。 2
- **特集 粋な時間**
ニューヨーク ハーレムシンガーズ
クリスマスコンサート 5
- **EVENT CALENDAR 2007**
平成19年度 10・11・12月公演情報
情報先取り! 魅力あるイベント満載! 7
- **the 舞台裏**
サマーミュージカルのスクールvol.6
「我楽庵屋物語Ⅲ」
～ほんの少しの勇気をもって～ 9
- **ロゼシアター施設紹介(3)**
「ガレリア」 11
- **芸術委員リレーエッセイ**
川崎 優 先生「オペラとクラシック音楽」 12
- **Flash Back**
■ロゼシアター主催事業
2007年6・7月 13
- **INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE**
◆交通のご案内
◆レストラン「ロゼ」秋のバイキング情報
◆市民参加レポート～ロゼこどもサマーフェスティバル～
◆プレゼントクイズ
◆休館日のお知らせ 14

●Interview Masahiro Sayama



日本を代表するジャズピアニスト 佐山雅弘
話はしなくても、卓越したテクニックとにじみ出るその気取らない人柄で観客を魅了するひとたび話をすると、「なんでも楽しむ心」が客席にも伝播するような、自称「明るいジャズピアニスト」来年2回シリーズでおくる「ロゼ・JAZZライブ講座 JAZZの秘密」に向けて、コンサート本番前、会場でお話を聞きました

●プロとして日々ピアノに向かう佐山さんですが、音楽の世界へ入るきっかけもピアノです。

そうです。ピアノを習い始めたのは小学校一年生の九月。気になる女の子がピアノを習っていてその子のレッスンについていたから、先生に見ているだけではなくピアノを弾くことを勧められたことがきっかけです。その後、中学一年生で一度やめているんです。シヨパンやリストは難しくなるじゃないですか。勉強と同じで勘でやっていたら、先生に「あなたは良かったけど、いよいよちゃんと練習しなければならぬところまで」とね。(笑)

●ジャズを選んだ理由は

ピアノをやめていた時に「グレンミラー物語」を見て、「ジャズってかっこいい！」と思っ

て十七年がたちます。メンバーのお二人はどんな方ですか。

ベースの小井さんは、二〇年来の知り合いで家族ぐるみのお付き合いをしています。うちの子供たちは僕より彼を「父親らしい」と思っているのではないのでしょうか。釣りにしたつて、キャンプにしたつてまず彼のところに行つて教えてもらいます。コーヒの入れ方も上手だし、まめだし、趣味人ですね。ドラムの大坂さんは、知人からすごいドラマーがアメリカから帰ってくるという話をきいて、直接国際電話をして仕事の話をしました。彼とは一回りほど年が離れていますが、とても落ち着いていて、コンサート中暴走気味の私を的確なコメントでフォローしてくれました。自分はどう思われているのかな、それぞれが役割をもつて、キャラのかぶらないバランスの取れたメンバーだと思います。

ら、ピアノを弾きながら、話をするわけですね。僕の研究発表の場のようなものですが、そんな固くはないですよ。学生にピアノを弾かせるわけではなく聴講するだけですが、ある程度のジャズのことにはわかって思っています。上手にはならないけど知識は身につく、その点は面白いと思いますよ。コンサートの時のように笑いをとったりしませんが。(笑)

●佐山さん流JAZZ音楽の楽しみ方はありますか。

音楽の上手い下手は関係ないです。演奏中タイミングをはずしてしまったり、リズムがあつていなかったり、ちょっとしたハプニングが起こった時、演奏者がどう対処し軌道修正するのか見るのが楽しいですね。決して音楽を聴いてないわけではないですが、でもドキュメンタリーを見にいつてい

ドキュメンタリーを見に。

JAZZは、ちょっとしたハプニングが起こった時、演奏者がどう対処し軌道修正するのを見るのが楽しいですね。

したね。今思えば、この映画の中にはオーディションの場面でプギウギが使われていたり、ラグタイムが使われていたり、いろいろな要素が含まれているのでジャズを知

●七月ロゼシアターで新日本フィルハーモニー交響楽団と共演なさいましたが、多種多様な演奏形態に対応するのは難しいですか。

特にモードチェンジをすることはありません。オーケストラと共演するときはちゃんと練習しますよ。決まりごとが多いか少ないかの違いだけです。それによって練習時間が変わってくるということでしょうか。演奏に対する姿勢はいつもベストをつくしています。

●演奏家のほかに「教授」という肩書きをおもちですが、どんな風に生徒さんに教えるのですか。

ジャズの歴史などを、レコードをかけなが

るようですね。(笑)

●実家はお茶屋さんだそうですね。

お茶は上手に入れますよ。以前、静岡県内の駅の売店でお茶を買ったことがありますがおいしかったですね。だいたいの相場はわかるのですが東京より安く、味も良かったです。東京では食事の後にお茶がでます。地域によって違うのかも知れませんが私は最初から食卓に準備しますね。

●一月、三月「ロゼ・JAZZライブ講座 JAZZの不思議」はどんな公演になりますか。

なんでここからここまでがジャズなのか、

この世のすべてがジャズなのか(？)、ジャズの演奏を聴いたときに、これはジャズであらうということはおかしくてもそれがどういうものなのか、そんなことをレクチャーします。我々、この演奏ももちろんあります。多くのの人に楽しんでもらいたいですね。(次回「情報誌ロゼ第六二号」にJAZZライブの予習ができる記事を掲載する予定です)

来年の公演が楽しみです。どうもありがとうございました。

取材文／川口直美

撮影／廣瀬貴礼

公演情報

◆ロゼ・JAZZライブ講座 JAZZの不思議 (2回シリーズ)

演奏・お話／佐山雅弘トリオ=M's (マサちゃんズ)
佐山雅弘(ピアノ) 小井政都志(ベース) 大坂昌彦(ドラムス)

I 教えて ジャズの聴きどころ 2008年1月25日(金)
II なんてできるの アドリブ 2008年3月14日(金)

●小ホール 開場18:30 開演19:00
●入場料(全席指定) 一般3,000円
2回Set券5,000円

●チケット発売日
ロゼ会員／10月27日(土)9:00～
一般／10月28日(日)9:00～



◆佐山雅弘 Masahiro SAYAMA ピアニスト 作曲家 編曲家

兵庫県生まれ。国立音大作曲科在学中より音楽活動を開始。1984年から現在までリーダー作として14枚、PONTA BOXとして11枚のアルバムをリリース。美しさと激しさが渾然となったピアノプレイと共に、作・編曲家、音楽監督としての活躍も高い評価を受けている。

2003年11月、50歳の誕生日に初のピアノソロリサイタル「佐山雅弘 plays ゴールドベルク」を東京文化会館 小ホールにて行う。2005年4月、自己のトリオ「M's」で秋山和慶指揮・東京交響楽団と初共演。2006年7月には東京交響楽団定期演奏会に出演、ミュゼ川崎シンフォニーホール、サントリーホール、新潟市民芸術文化会館にてバーンスタイン作品に挑戦し、大成功を収める。

現在、ミュゼ川崎シンフォニーホールアドバイザー、名古屋音楽大学客員教授、国立音楽大学応用演奏科非常勤講師。

N.Y.ハーレム・シンガーズと一緒に ゴスペルを歌おう!!

4回のワークショップとプレコンサートを経て、N.Y.ハーレム・シンガーズと共演します。
※プレコンサートは、ロゼシアター1階ガレリアにて、参加者の皆さんのみ(N.Y.ハーレム・シンガーズは出演しません)で行うイベントで、本公演のアピールを目的として公演します。

- ◆**応募方法**／ロゼ・チケットセンターに電話(0545-60-2500)
あるいは窓口で直接お申し込みください。
- ◆**参加資格**／小学生以上で、なるべく全ワークショップに参加できる方
- ◆**参加費**／5,000円 (コンサートチケット付き)
(12/23公演当日、ご出演いただく以外のプログラムをご覧ください。)
- ◆**練習日**／第1回／12月 1日(土)13:00~16:00
第2回／12月 8日(土)13:00~16:00
第3回／12月 9日(日)13:00~17:30「プレコンサート」(17:00~17:30)
第4回／12月22日(土)13:00~16:00

※皆様とN.Y.ハーレムシンガーズの共演をできるだけ多くの方々に
ご覧いただきたい為ご参加いただく皆様にチケットの販売に
ご協力をお願いいたします。

- ◆**募集期間**／11月1日(木)~11月15日(木)
- ◆**ワークショップ講師**／ETSUKO(静岡市在住)



昨年の焼津公演より



■ワークショップ講師 ETSUKO(静岡市在住) ＜プロフィール＞

4歳から音楽をはじめ、1992年よりヤマハ講師(幼児教育~
子供ミュージカル~ボーカル~ゴスペル/Commy's Gospel
Choirを担当)。2000年パークリー音楽大学のサマ
ーセミナーに参加。日常生活にあふれるゴスペルの魅力には
まり、その後N.Y.メンフィス、ニューオリンズ、シカゴ等の
教会にてパフォーマンスを行う。また、生涯学習教育の一環と
して小学生を持つ母親を対象にしたゴスペルワークショップ
や老人施設への慰問等を行っている。現在はボイストレーナ
ーとしてボイストレーニングやアカペラ
グループ指導する他、最近では心と身体
の癒しを促すボイスセラピーセッション
を行っている。2006年12月に焼津で開
催されたN.Y.ハーレム・シンガーズと市
民のコラボレーションの講師を務める。



ゴスペルの楽しさとは?
ゴスペルはすべてが自由なん
です。だから、どんな気持ち
で歌っても、どんな発声でも、
自分が歌いたいという気持ち
さえあればOKなんです。そ
して、その気持ちの入った人
々の歌声が、一つの大きなサ
ウンドになるんです。
声と声のヴァイブレーション
が交わった時に感じる「心の
繋がり感(一体感)」は最高で
すね、感動です!

2007年12月23日③ ●富士市文化会館ロゼシアター 大ホール

開場17:30 開演18:00

ワークショップ講師 ETSUKOさんにインタビュー

「ゴスペルとはどういう音楽ですか?」
語源は「God Speer」(ゴッドスピール)、「神様の言葉」
という意味で、それが「ゴスペル」になったと言われてい
ます。もともと、ゴスペルは教会で歌われている音楽で、
神を讃美する歌詞が必ず入っているんです。でも、日本
では映画の影響が強く、ミュージックというかサウンド
としてのゴスペルが定着していると思うんです。だから
「天使にラブソングを」という映画で歌われているよう
に、皆で声を合わせて、楽しく、時にはクラップをしたり
とリズムに乗りながら歌うのが一般的にゴスペルと呼ば
れているものですね。

ゴスペルを始めたきっかけは?

もともと音楽教室でヴォーカルを教えていたんです。そ
の時に担当していたクラスで、全員で何か一曲歌いましよ
うってなった時に初めてゴスペルを歌ったんです。
それで、その音楽教室でもゴスペルクラスを開講するこ
とになって教え始めたんですが、当時はゴスペル資料が
少なく、一位で限界を感じて、ボストンやニューヨーク
行っただけです。そこで、現地の人たちが一緒に生活して
「ゴスペル」というのはどういうものなのかというのを肌
で感じてきて、それから帰国して本格的に始めました。

昨年の焼津公演はいかがでしたか?

小学生から60代まで幅広い年齢層で、経験者と初心
者が半々だったんですが、ハーレムシンガーズと一緒に歌
える喜びや雰囲気(開放感)に皆さん興奮していました(笑)。中にはご夫婦で参加された方もいてとても楽しそ
うでしたし、終わったあとの皆さんの笑顔はとても印象
的でした。

The New York Harlem Singers Christmas Concert

本場ブロードウェイからやってきたゴスペル・グループによるご機嫌なクリスマス・コンサ
ート。ゴスペル・ソングから、ジャズのスタンダード、ブロードウェイ・ミュージカルのナン
バーまで、幅広いレパートリーで、大人から子供まで楽しめる極上のエンタテインメントを
お届けします。

メンバー

リンダ・トゥワイン(音楽監督/ピアノ)
テレサ・ハムスミス(ソプラノ)
ロスリン・ロデリア・パロー(ソプラノ)
デボラ・ロウズ(メゾ・ソプラノ)
ジェームズ・レキサンダー(テノール)
フィリップ・ボイキン(バスバリトン)
リチャード・ジョン・Jr.(バス)
ジョー・マクドナルド(パーカッション)

N.Y.ハーレム・シンガーズ

1996年、ブロードウェイで様々なミュージカルの音楽監督
として活躍しているリンダ・トゥワインが、オペラ、ミュー
ジカル等で活躍する歌手たちを集めて結成。同年、ハーレム
芸術学院にてデビューコンサートを行う。以降、アメリカ、メ
キシコ、韓国にて定期的にツアーを行い高い評価を得てい
る。彼らはプログラムに黒人霊歌を多く取り上げ、その普及
に努めている。南部アフリカ系移民の奴隷文化から生まれ、
隷属させられていた人々に希望と慰めを与えてきただけ
でなく、アメリカで生まれた多くの音楽形式の基となっ
ている黒人霊歌。N.Y.ハーレム・シンガーズは黒人霊歌のエ
ッセンスを残しながら、エンターテインメント性に溢れるア
レンジを施し、世界中の人々にアメリカの伝統を伝え続け
ている。

入場料(全席自由)
均一:3,000円

★チケット好評発売中

※未就学児のお子様を連れての鑑賞はご遠慮ください。

◆**予定プログラム** アメイジング・グレイス、ジョイフル・ジョイフル、A列車で行こう、
ドライボーンズ、ジングルベル、ハニー・サクルローズ 他

※曲目は変更になる場合がございます。予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

ゴスペル・コーラスを超えた
エキサイティングな黒人エンタテインメントの世界

昨年末に初来日したN.Y.ハーレム・シンガ
ーズのコンサートを見て久しぶりに興奮した。こ
のコーラスグループのすばらしさは、あらかじめ
CDを聴いて、ある程度予想できたが、実際のス
テージの楽しさは、CDをはるかに超えてエキサ
イティングであった。

ハーレム流のゴスペルを基調にしながら、ジャ
ズやミュージカル、黒人芸能の要素がちりばめら
れていて、まるで、ハーレムやブロードウェイで黒
人たちのショウを聴いているようなゴージャスな
エンタテインメントに溢れていた。これはリーダー
で音楽の監督、ピアニストでもあるリンダ・トゥワ
インの天才的な才能によるところが大きいとお
もう。ぼくは、一九八〇年にブロードウェイで「リ
ナ・ホーン・アンド・ハー・ミュージック」というトリ
ー受賞のステージを聴いたが、その時ピアノと
音楽監督を務めていたのが、若き日のリンダで、
リナが絶賛していたのを思い出した。リンダは「
エイント・ミス・ビヘイヴン」「ウイズ」「カラー・パー
ブル」など黒人ミュージカルの制作や音楽監督に
かかわってきた。そのためか、N.Y.ハーレム・
シンガーズのプログラムにもテューク・エリントン
やファッツ・ウォーラーらの音楽やガーシ・ウィ
ンの「ボーギーとベス」などの音楽も豊富に取り入
れて楽しませてくれたし、黒人霊歌「ジェリコの
戦い」や「ドライボーンズ」では本物のゴスペルの
真髄を聴かせてくれた。ソプラノ三人、テナー、バ
リトン、バスからなるコーラスの温かい声とレベ
ルの高いハーモニーには驚嘆したし、打楽器奏者
やタップダンサーまで加わった、総合的な黒人の
エンタテインメントを堪能することができた。

終つてから楽屋にリンダ・トゥワインを訪ねてリ
ナ・ホーンの舞台を観たことを話すと、とても喜
んでくれ、日本公演は音楽ファンにも歓迎されて
とても嬉しいという、また来たいと語っていたが、
早くも再来日が実現することになったのは喜ばし
いからだが、ぼくもまたあのエキサイティングな
ステージが聴けるかと思うととても待ち遠しい。

EVENT CALENDAR 2007

12 December

12/1 土曜日 **伊勢正三プロデュース ロゼフォークプラザ2007**

出演:伊勢正三、イルカ、山本潤子
大ホール
開場/18:00 開演/18:30
●入場料(全席指定・税込) 均一/5,800円
チケット好評発売中



伊勢正三



イルカ



山本潤子

12/15 土曜日 **村治佳織クリスマスコンサート**

中ホール
開場/18:00 開演/18:30
●入場料(全席指定・税込) 均一/5,000円
チケット好評発売中

■プログラム
リョベート/聖母の御子
ソル/グランド・ソナタ ハ長調 op.22
モレーノ・ロバ/ラ・マンチャの歌
佐藤弘和(編曲)/クリスマスメドレー、ホワイト・クリスマス ほか

※内容は変更になる場合がございます。予めご了承下さい。



12/23 日曜日 **N.Y.ハーレム・シンガーズ クリスマスコンサート**

大ホール
開場/17:30 開演/18:00
●入場料(全席自由・税込) 均一/3,000円
チケット好評発売中

ニューヨークで生まれ、全米を熱狂させているゴスペルシンガーズが、クリスマスをムードに盛り上げます。



※5・6ページの特集記事もご覧下さい。

ロゼシアター主催公演のチケット購入方法について

- ロゼ・チケットセンターで直接購入(9:00~19:00)
ロゼシアター1階のロゼ・チケットセンターへどうぞ。座席表を見て空いているお席の中から好きな席が選べます。
- ロゼ・チケットセンター電話受付で購入(9:00~19:00)
ロゼ・チケットセンター0545-60-2500にお電話で受付(座席番号の指定はできません)のうえ、以下の方法でチケットをお受け取り。
[1] 直接来店...ロゼ・チケットセンターでチケット代金とお引換えください。
[2] 郵送...チケット代金を郵便振替もしくは銀行振込でご入金(チケット代金+チケット郵送料)いただき、ロゼ・チケットセンターでご入金確認後次期チケットをご郵送いたします。

郵便振替:郵便振替口座 00840-0-130374
銀行振込:富士信用金庫本店 普通預金口座 0146337 ※いずれもロゼ・チケットセンターまで。

- プレイガイドで直接購入※取り扱いしない公演もございます。下記のプレイガイドでご購入ください。
■マルサン書店 沼津仲見世店 TEL.055-963-0350 10:00~20:00
■カワセ書店 富士宮富田店 TEL.0544-24-7160 9:00~24:00
■ユニオンテラス富士宮店サービスカウンター TEL.0544-24-6777(代) 10:00~21:00

●チケットぴあで購入

電話で予約購入 10:00~23:30
0570-02-9999 (音声認識予約)
スポーツ専用 0570-02-9977
演劇専用 0570-02-9888
クラシック専用 0570-02-9990
問合せ専用 0570-02-9111

直接お店で購入

各店舗で直接購入
FamilyMart 10:00~23:30 ※発売初日は12:00~
ローソン 10:00~23:30 ※発売初日は12:00~
セブンイレブン 10:00~各店営業終了時まで

チケット

※表示価格は全て消費税が含まれております。

11 November

11/9 金曜日 **プラハ国立歌劇場 ヴェルディ作曲 オペラ「椿姫」**

指揮:エンリコ・ドヴィコ 演出:アルノー・ベルナル
大ホール
開場/18:00 開演/18:30 (予定公演時間 2時間40分)
●入場料(全席指定・税込)
S席/13,000円 A席/11,000円 B席/9,000円 学生/5,000円
チケット好評発売中

パリの華やかな社交界を舞台とする純愛ドラマとして、多くの人に愛されているオペラ「椿姫」。「音楽」「美術」「ストーリー」の三拍子揃った名作、オペラファンは何度も見に行くほどの名作ですが、初めて観るオペラとしても絶好の演出です。

パリの高級娼婦ヴィオレッタと貴族の若者アルフレードの身分違いの恋、それに反対する若者の父親-パリの社交界を舞台にした純愛と悲恋の物語。オペラファンでなくても馴染みの曲「乾杯の歌」をはじめ、名アリアの数々に心揺さぶられます。



【プラハ国立歌劇場】
1887年に創設され、今年創立120周年を迎えるチェコ最大規模のオペラ専用劇場。当時プラハに在住したドイツ人達が資金を拠出し、原語上演を行う世界水準の本格劇場としてオープンさせた。初代指揮者にカール・ムックを迎え、2代目指揮者にグスタフ・マラー、さらにはジョージ・セル、ブルーノ・ワルター、エーリヒ・クライバー、リヒャルト・シュトラウス、オットー・クレンペラーといった音楽史上に名を残す巨匠指揮者を招聘するなど、当初から高い水準の公演を実現した。1996年の初来日以来「魔笛」「こうもり」「トスカ」「アイーダ」といった演出で好評を博し、きめ細かな演出、効果的な装飾・衣裳など、すみずみまで神経の行き届いた上演には、チェコという国の持つ豊かな音楽伝統・舞台伝統をまざまざと見てとることが出来る。「椿姫」を携えての来日は初となる。



11/10 土曜日 **チケット発売日** 何が起こるかかわらない傑作痛快コメディ恋はコメディー

出演:浅丘ルリ子、渡辺えり子 他

脚本:岡本さとる

演出:加納幸和

原作:マリア・バコーム

大ホール

公演日/2008年3月9日(日)

開場/18:00 開演/18:30

入場料未定

二枚目新米泥棒が忍び込んだお屋敷は、世にも有名な盗賊姉妹の住処だった!そこに待ち受けるミステリアスな事件とは?恋のからくり騒し合い。二転三転、敵か味方か!先の読めない展開にもう目が離せない!!



浅丘ルリ子

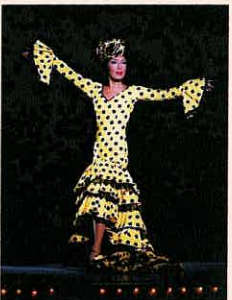
渡辺えり子

10 October

10/10 水曜日 **平成19年度 松竹特別公演 ピーターVS池畑慎之介**

中ホール
星の部 開場/12:30 開演/13:00
夜の部 開場/17:30 開演/18:00
●入場料(全席指定・税込)
1階席/6,000円 2階席/5,500円
チケット好評発売中

ピーターこと池畑慎之介による「お芝居」と「レビューショー」の豪華2本立て!豪華で妖艶なダンス、こころに響くシャンソン、そして楽しいトークなど、ピーターの魅力のすべてをお魅せる絢爛豪華なステージです。



10/13 土曜日 **チケット発売日** 布施 明ライブ07-08

大ホール
公演日/2008年2月23日(土)
開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席指定・税込) 均一/5,500円

10/14 日曜日 **一般(9:00~)**



10/20 土曜日 **チケット発売日** メラニー・ホリディ&ウィーン・シェーンブルン・オーケストラ

大ホール
公演日/2008年1月20日(日)
開場/17:30 開演/18:00
入場料(全席指定・税込)
S席/4,000円 A席/3,000円 学生/1,500円

10/21 日曜日 **一般(9:00~)**

本場ウィーンを実感!ニューイヤーの幕開けにふさわしい華麗なステージをご堪能ください。



10/27 土曜日 **チケット発売日** ロゼ・JAZZライブ講座「JAZZの不思議」2回シリーズ

演奏・お話:佐山雅弘トリオ M's (マサちゃんズ)

ピアノ/佐山雅弘 ベース/小井政都志

ドラムス/大坂昌彦

小ホール

公演日/ I.2008年1月25日(金) ~どこなの ジャズの聴きどころ~

II.2008年3月14日(金) ~なんでもできるの アドリブ~

開場/18:30 開演/19:00

入場料(全席指定・税込)

1回/3,000円 2回SET券/5,000円



10/28 日曜日 **ZA ONDEKOZA LIVE TOUR 2007-2008**

【sunrise-風の大地より】

大ホール

開場/15:30 開演/16:00

●入場料(全席自由・税込)

一般/4,000円 学生(3歳以上)/2,000円

チケット好評発売中

富士市を本拠地に活躍する鬼太鼓座の公演





「我樂詫屋物語Ⅲ」



さらに、衣裳部メンバーは物語中盤とラストの重要なシーンにキャストとして登場することになったのだが、衣裳製作は稽古と同日同時間帯で行っていたため、稽古場と衣裳製作部屋を行ったり来たりと大忙しであった。公演終了後のアンケートでは、「衣裳が手作りとはとても思えない」「衣裳が素敵だった」などの言葉が多く聞かれ、約二ヶ月間のご苦労が報われたと言えよう。この誌面を借りて改めて御礼を申し上げます。

来年はロゼシアター開館十五周年、そしてロゼシアター制作の市民創作ミュージカルが始まって十周年の節目の年となる。これまでの市民ミュージカル参加者は延べ七百七十名、延べ観客数は一万四千名を数えた。これから先も、ロゼシアターにおける市民創作ミュージカルが大きく飛躍していくことを願いたい。

[illegible]

ROSE 10



ロゼこども
サマーフェスティバル
サマーミュージカルスクールVol.6
The 舞台裏

サマーミュージカルスクール Vol.6

～ほんの少しの勇氣をもって～

発表公演:平成19年7月28日(土)

●太陽組公演／開演11:00 ●向日葵組公演／開演15:00
●稽古期間:平成19年5月19日(土)～7月27日(金)

平成十年に開館五周年記念事業として「ミュージカル」新・曾我物語「名残りの小袖」を上演。それを機会に富士市に「ミュージカル」を根付かせようと開始した「サマーミュージカルスクール」。六回目を迎える今回は『我楽託屋物語』シリーズの書き下ろし新作「ほんの少しの勇氣をもつて」を上演。小学校四年生から高校三年生までの七十名が、約二ヶ月間二十五日の稽古を経てその成果を披露した。

また今回は、般キャスト七名が賛助キャストとして出演。その経験からくる演技は、ストーリーを時に引き締め、時にユーモラスにそのステージを盛り上げた。さらに、稽古中は指導者の一人として、休憩中はミュージカルの先輩だからこそ相談できる良きアドバイザーとして、小中高生を「プロの役者」へ近づけるべく牽引してくれていた。（感謝）

しかし、今回のサマーミュージカルスクールでの一番の功労者は「衣裳部」であろう。ロゼシアター制作の市民ミュージカルでは、音響・照明はプロに委ねているが、舞台装置などの大道具、キャストが手にする小道具、そしてキャストが着用する衣裳は全て市民ボランティアの手で一つ一つ作られている。

その衣裳を製作するのが「衣裳部」で、『名残りの小袖』以来全てのミュージカルの衣裳デザインを手がけていただいている牧野ちや子さんを中心に、参加キャストの保護者など十数名で構成されており、有難いことに、その中には自身の子供は参加していないのに衣裳製作に協力をしていただいている方もいる。その「衣裳部」が本編全ての衣裳製作を手掛けるのだが、今回の作品はサマーミュージカル初の「猫」が主役、そしてその敵は「犬」と動物が出演の大

スタッフ					
演出・脚本	三浦 克也	演出・振付	海田 文雄		
作曲	河田 大輝	編曲	川口正一郎		
照明	藤部 佳久	監修	長谷川 信一		
音楽指導	辻村 典将	美術	JUNKO		
衣装	神尾のぞみ	小道具	牧野千子		
メイク	横沢由美	小道具	寺崎 史和		
演出・振付助手	小野 美江	演出	久保田 悠		
	勢あき 泉美	演出	佐野 務		
	太路 悟也		千代 敬蔵		
	佐野 祐二		若菜 恭史		
	小林 紗依		稲葉 潤子		
	志田 眺		岡田 寛史		
	宮田 聖志		若林 聖恵		
音響オペレーター	坂谷 浩夫		小林 穂惠		
衣裳師	小林 和恵		芝田 昌馬		
	月子		志水 文子		
	福 珠実		西家 節子		
	神尾のぞみ		石橋 貴文		
	古部 明代		望月 浩子		
	嶋 樹良		山根 哲哉		
	和田 達		神尾 哲哉		
制作補	矢部 智也		平橋 彰子		
制作	荒井 典子		深澤 真奈美		
	坪井千太郎		秋山 早子		
	石橋 貴文		古部 明代		
	望月 浩子		嶋 樹良		
	山根 哲哉		神尾 哲哉		
	和田 達		矢部 智也		
	荒井 典子		平橋 彰子		
	深澤 真奈美		秋山 早子		
	古部 明代		嶋 樹良		
	神尾 哲哉		矢部 智也		
	和田 達		荒井 典子		
	平橋 彰子		深澤 真奈美		
	秋山 早子		古部 明代		
	嶋 樹良		神尾 哲哉		
	矢部 智也		平橋 彰子		
	深澤 真奈美		秋山 早子		
	古部 明代		嶋 樹良		
	神尾 哲哉		矢部 智也		
	和田 達		荒井 典子		
	平橋 彰子		深澤 真奈美		
	秋山 早子		古部 明代		
	嶋 樹良		神尾 哲哉		
	矢部 智也		平橋 彰子		
	深澤 真奈美		秋山 早子		
	古部 明代		嶋 樹良		
	神尾 哲哉		矢部 智也		
	和田 達		荒井 典子		
	平橋 彰子		深澤 真奈美		
	秋山 早子		古部 明代		
	嶋 樹良		神尾 哲哉		
	矢部 智也		平橋 彰子		
	深澤 真奈美		秋山 早子		
	古部 明代		嶋 樹良		
	神尾 哲哉		矢部 智也		
	和田 達		荒井 典子		
	平橋 彰子		深澤 真奈美		
	秋山 早子		古部 明代		
	嶋 樹良		神尾 哲哉		
	矢部 智也		平橋 彰子		
	深澤 真奈美		秋山 早子		
	古部 明代		嶋 樹良		
	神尾 哲哉		矢部 智也		
	和田 達		荒井 典子		
	平橋 彰子		深澤 真奈美		
	秋山 早子		古部 明代		
	嶋 樹良		神尾 哲哉		
	矢部 智也		平橋 彰子		
	深澤 真奈美		秋山 早子		
	古部 明代		嶋 樹良		
	神尾 哲哉		矢部 智也		
	和田 達		荒井 典子		
	平橋 彰子		深澤 真奈美		
	秋山 早子		古部 明代		
	嶋 樹良		神尾 哲哉		
	矢部 智也		平橋 彰子		
	深澤 真奈美		秋山 早子		
	古部 明代		嶋 樹良		
	神尾 哲哉		矢部 智也		
	和田 達		荒井 典子		
	平橋 彰子		深澤 真奈美		
	秋山 早子		古部 明代		
	嶋 樹良		神尾 哲哉		
	矢部 智也		平橋 彰子		
	深澤 真奈美		秋山 早子		
	古部 明代		嶋 樹良		
	神尾 哲哉		矢部 智也		



ROSE 9



ガレリア

「文化と文化」
「人と人」交流の夢空間

Performance Corridor ● Galleria

galleria... (イタリア語) 高い位置にガラスなどの屋根をもつ歩行者空間。

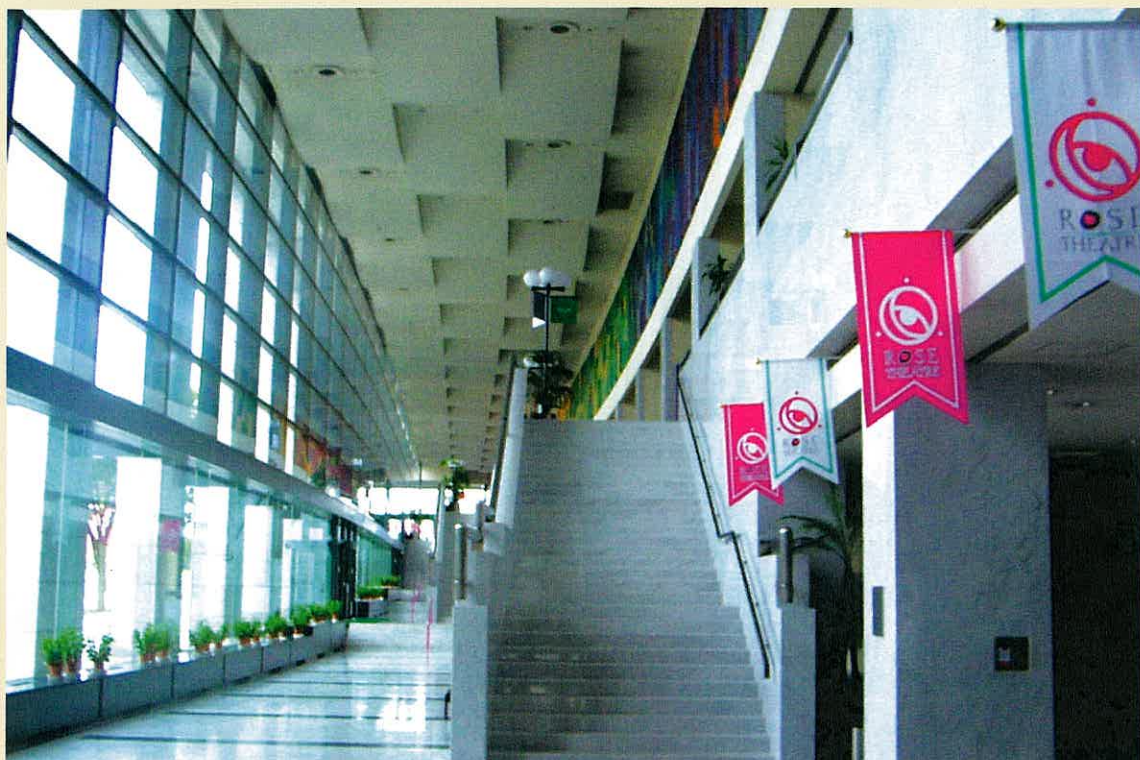
巨大なタピストリーとともに「ロゼシアターの顔」ともいえる会館北側の共有スペース「ガレリア」。

人々が集い、笑い、語らいあう空間として変幻自在な演出が楽しめます。これまでに、アカペラL

IVE、アンサンブルミニコンサート、ロゼ・トレインフェスタなどのイベントを行ってきました。ガレリアはクラシッ

ク音楽をはじめとして演奏者と身近に楽しめる企画や展示、アットホームな雰囲気魅力です。

また、毎年クリスマスシーズンには、ツリーとサンタクロースをメインにしたさまざまな趣向を凝らしたディスプレイが恒例となっています。昨年は、富士芸術村の協力をいただき「お菓子の家」を子供たちと一緒に製作しました。今年もアツと驚くディスプレイを企画中ですのでどうぞお楽しみに!



お菓子の家



ガレリアミニコンサート



ミュージカルパネル展



ロゼ・トレインフェスタ2007



クリスマスディスプレイ

■利用基本金額 (税込)

施設	利用区分・時間	基本金額	物品の販売、又はこれらに類する目的の催し物は認めません。
ガレリア	●午前 9:00~12:00	5,250円	
	●午後 13:00~16:30	5,250円	
	●夜間 17:30~22:00	5,250円	

※展示室前に限る

■利用の申し込み

- ◆受付時間/午前9時~午後8時まで
(申請は直接ご来館下さい。電話・郵送による申し込みはできません。)
- ◆申し込み期間/6ヶ月前の月の初日から当日まで
- ◆連続利用期間/10日間
- ◆利用者が、商業宣伝、営業またはこれらに類する目的をもって利用する場合の金額は、基本金額の100分の250を乗じて得た額とします。

Relay Essay

私はかつてユネスコ研究員としてニューヨーク在住中にしげくリンカーンセンターに通いメトロポリタンオペラ劇場やコンサートホールでたくさんのお茶やシラフを「オーケストラ」を堪能しました。

ここメトロポリタンオペラは妥協を許さない現状主義で、ブッチーニ作曲、そして初めて日本人としてメトロに招請された青山圭男演出の「マダム・バタフライ」蝶々夫人の演技は純情にして着物の袖さばきも現代日本娘よりもはるかに上手(失礼?)でした。また、プラハのオペラ劇場で蝶々夫人の凄惨な自害の場面は真に迫る悲痛な演技で、観客のすすり泣きが各所で聞こえてきました。

また私は再度のニューヨーク訪問でイタリア人の演出で「蝶々夫人」を鑑賞しましたが、この時の演出家は、戦後間もなく日本を訪れワグナー作曲タンホイザーの「タヌの歌」で我々を魅了した名歌手デル・モナコの息子ジャン・カルロ・モナコでした。

この演出はイタリア人らしく、なんと大変色っぽい蝶々夫人を演出していましたが、また面白いことにピンカートンと蝶々夫人とその家族たちの集合写真を写す場面では、写真家さんが高く掲げた版の上でマグネシウムに点火して被写体を明るくしてシャッターをきっていました。

今の方にはお分かりにならないでしょうが、私たちの若い頃にはマグネシウムを焚く光りで写真を写していたのです。日本では同じオペラの演出をそれぞれ比較して楽しんできました。

しむことは難しいかと思いますが、オペラそのものを楽しむことは勿論ですが、それに加えて演出に注目するのもオペラ鑑賞の楽しみなのです。

ロンドンのロイヤルオペラハウスで見た、オペラ・パリ・アッチ・道化師」は劇中劇の観客の前で浮気妻を刺殺すのですが、さすがに演劇の国らしくその演技はひととき凄惨な悲哀美に満ち溢れたものでした。また最近六月三十日に我が家の近くの茅ヶ崎市民文化会館で見たイタリア・スボレー・ト歌劇場のロッシェニ作曲セヴィリアの理髪師は各所に見られる楽しい演出で観客を楽しませてくれました。

さて、わがロゼシアターでは来る十月九日にプラハ国立歌劇場のヴェルディ作曲「トラビータ」椿姫の公演が待ちどおしいことですが、このヴェルディ不朽の名作の演出は気鋭の若手フランス人ベルナルの手になるとのことです。彼はこのオペラの前奏曲のあとで歌われるあの有名な「乾杯の歌」の場面であらゆるパリの社交界の情景を、また父親のジェルモンが息子のアルフレッドをいさめる父と息子の葛藤の場面を、そしてアルフレッドが見守るなかでの圧巻であるトラビータの臨終場面は演出家ベルナルの腕のふ



るいどころ!これは大変な見所、聴き所です。

ちなみにヴェルディは純情恋愛物語の「椿姫」のみならず、力強いオペラ「アイダ」「運命の力」「ナブッコ」など数多くの名作を残しています。そしてこの大作曲家は、晩年に国会議員として国政にあずかり、告別式は国葬として見送られています。ミラノのスカラ劇場に隣接したピアヴェルディ、つまり「ヴェルディ通り」は大作曲家の功績を永遠に称えるものとなっています。

またこの大作曲家の後を継いだのがジャコモ・プッチーニですが、先ほどお話ししました「蝶々夫人」で我が国と深い縁を結んでくれましたが、また、イナバウアで有名になり金メダルに輝いた荒川静香さんがトリノオリンピックで取り上げた「トゥーランドット」を作曲したのもプッチーニなのです。

さて、クラシック音楽としては、ロゼシアターの出し物、新春のウィーン・シエナ・コンサートとしてあのウィーン・コンサート「定番」美しき青きドナウを聴かせてくれます。そしてアメリカ生まれの美人、美声のメロニー・ホリディはヨーロッパでデビューして名声を挙げましたが、彼女の素晴らしい歌声が楽しみです。



川崎 優

プロフィール

東京に生まれ東京音楽学校(現東京芸術大学)器楽科卒業後フルート奏者として世に出たが、後に常葉学園大学にて作曲法、音楽理論の教授となる。第11回文部省主催芸術祭にて文部大臣作曲賞及びNHK協会賞受賞。ユネスコ研究員としてフェロシッポを受領しジュリアード音楽院にて作曲の研究をした。多くの作品が日本、アメリカ、ドイツ、オランダ、そしてベルギーで出版され、また、数度にわたりスイス・ウスター音楽祭に招待され自作品を初演した。「第6回ドイツ連邦音楽祭フライブルグ」「第8回オリジナル吹奏楽国際コンクールイタリア・コルチアーノ」「吹奏楽国際コンテスト・バレンシア」「神戸フルート作品国際コンクール」などの審査委員として招聘された。「国際青少年音楽祭・静岡」の音楽監督を初代から10数年勤め、現在、常葉学園名誉教授、日本現代音楽協会名誉会員、楽譜DTP協会会長、富士市文化振興財団芸術委員としての役割を持つ。

援で川崎優作品演奏会が素晴らしい演奏家の競演で満員の聴衆のもとで行なわれました。

欧米では古くから積極的に新作品を取り上げ、勿論オペラも含めて、演奏家、そしてそれを鑑賞する聴衆が淘汰してその中から良い作品を後世に残しています。私の作品などは論外ですが、しかしこの作品開発の伝統の中に触れたことだけでも有り難いことと嬉しく思っています。

また、このところテレビドラマ「だめカンタービレ」や映画「ピアノの森」などマンガを媒体としてクラシック音楽の啓蒙が図られています。これら異端児によるクラシック音楽の普及の成果を期待しています。

「オペラとクラシック音楽」

